



**MORIOKA**  
ROTARY CLUB WEEKLY

第40回例会(5月9日)  
平成26年5月16日発行

クラブ事務所 岩手県盛岡市菜園1丁目10  
川徳デパート内  
例 会 場 同上 TEL(651)1111(代)  
FAX(653)5622  
例 会 日 毎週金曜日12時30分~

会 長 平井 滋  
幹 事 平野 佳則  
会 報 金子 真也  
クラブ直通電話 TEL(653)5682

Engage Rotary, Change Lives. 'ロータリー'を実践しみんなに豊かな人生を…… Ron D. Burton



ゲスト卓話

## 「ポランの広場」活動報告

非常利活動法人 岩手県青少年自立支援センター「ポランの広場」理事  
盛岡地区父母の会 会長

畠山 節子 様

### 1 はじめに

今年度も、盛岡ロータリークラブ様からポランの広場の活動をご支援いただけることに深く感謝申し上げます。私たちの岩手県青少年自立支援センター「ポランの広場」が盛岡ロータリークラブ様から助成を受けるようになって、今年で7年目になります。変わらないご厚情にお礼申し上げますとともに、今年の活動についてご報告いたします。

ポランの広場は、昨年いくつか新たな活動を試みました。第一に、通常の盛岡市松尾町のビルの3Fにあるポランの広場での相談に加えて、昨年6月から肴町にある「ななっく」4Fの一隅をお借りして相談ルームをひらき、予約による相談を始めました。買い物ごたごたで立ち寄りという雰囲気がよくなったようで、少しずつ相談が増えています。第二に、しばらく手づかずにいたホームページを刷新して充実させ、月1回の更新を行い常に新しい活動情報を発信するようにしました。その結果、ホームページを見た方が相談に訪れるようになりました。三番目は、フードファーム事業に参加しました。盛岡市内に畑をかりて野菜を植え、採れた作物を被災した方々に配るというプロジェクトですが、これに数名の若者と数名の親が参加しました。1週間のうち1日の午前中2時間、他団体の方と共同の農作業を行いました。そして、それに参加した若者が成長する姿を目の当たりにすることができました。

今日はこれらの活動を中心に昨年1年間の私たちの活動を報告致します。

### 2 ポランの広場の歩み

登校拒否・不登校の問題は高度成長期以後の1970年代に表面化し、受験競争が激しくなった時期と重なって増え、1980年代後半には、いじめによる子どもの自殺が急増しました。その時期に、27年前(1987年)になりますが、ポランの広場が「岩手県不登校を考える父母会」として不登校の親子の支援を目的に結成されました。その後しばらくして若者のひきこもりが社会的にみられるようになり、ポランの広場には家から外に出られないひきこもりの状態の若者の相談に加えて、学校や職場には行けないが外出はできるという若者の相談も多く寄せられるようになりました。そこで、そういう若者たちが過ごせる居場所が必要になり2001年に、居場所「ポランの広場」を開設しました。それ以来、ポランの広場は、不登校・ひきこもりに悩む多くの親子の相談の場として、また家に閉じこもった状態から外に出られるようになった若者がなにもしないでも過ごせる居場所として広く利用され、さらにポランの広場の様々な活動の拠点として今日に至っています。

### 3 ポランの広場の活動内容

開設以来、「ポランの広場」は毎週火、金、土曜日に開館し、次のことを活動の主な柱としています。

- (1) 不登校・ひきこもりに悩む親子の相談と親の会活動の支援
- (2) 社会に出るのが困難な若者の居場所「ポランの広場」の開所と若者の会活動の支援
- (3) 不登校・ひきこもりへの理解と対応につい

での学習会や講演会による啓発活動

(4) 岩手県内各地区の父母会への情報提供と各地区父母会間の連絡と交流活動

#### 4 相談活動について

ポランの広場は日常活動として、不登校に悩む親子や家の外に出られないため（ポランの広場にも来ることができない）ひきこもりの若者の親の相談に対応しています。相談内容は様々で、電話での相談も少なくありません。開所日数は2012年度と同じ147日で、相談総数は237でした。2012年度に比較して少し増加しています。昨年8月、ホームページを改訂したことが一因と思われますが、盛岡市内だけでなく周辺の矢巾町や八幡平市などからおいでになる方が目立ちました。

平成 25 (2013) 年度 ( ) は新規						
	来所	電話	合計数	相談総数	開所日数	利用者数
不登校	30(17)	10(5)	40(22)	237(44)	147	798
ひきこもり	110(15)	43(2)	153(17)			
その他	15( 4)	29(1)	44( 5)			

平成 24 (2012) 年度 ( ) は新規						
	来所	電話	合計数	相談総数	開所日数	利用者数
不登校	12( 4)	14(3)	26( 7)	211(18)	147	835
ひきこもり	48( 6)	28( 0)	76( 6)			
その他	31( 3)	78(2)	109( 5)			

#### 「ポランの広場」で行った相談数

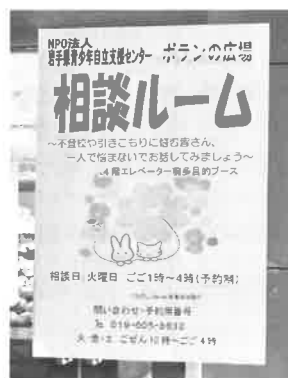
現代は、学校での子ども間のいじめによる自殺や、部活における体罰、親の経済的貧困や虐待などにみられるように、一部の子どもたちは様々な場面で過酷な状況にいることがあります。それを裏付けるかのように、学齢期の子どもの不登校が減少していません。子どもが学校に行けなくなった（行かなくなった）時、周りの大人は“その子が自分でいられなくなっている”と捉えたほうがいいと思います。家庭や学校での子どもの状況を見直す必要があると考えます。家庭で、学校で、その子の存在がそのまま、ありのままで認められることで、その子は元気を取り戻すことができると思っています。それには、どうしたらいいのでしょうか。家庭で、子どもの話をじっくり聞いて、子どもの存在を受け入れることが何より大切です。学校でのサポートはどうしても学業が中心で、子どもは学校の期待に無理してでも応えようとして、自己肯定感をとりもどせないままにサポートされることで、なんとか進級や進学を乗り越えているのが実情だと思います。不登校の子どもたちの存在そのものが受容されていないと感じます。

ひきこもりの場合、自宅を訪問して相談に乗ることもあります。家族だけで抱え込まずに、訪問相談員などの三者の訪問があるだけで、ひきこもっている若者へ良い影響があることが経験的に知られています。

「その他」と言うのは、家にひきこもっているのではないけれど、ポランの広場にやってくる、自分の就労のこと、家族のことなどを相談する若者で、就労したいのですが時間がかかっているという状態で、この状態の若者の相談も大切にしています。相談だけでなく、さまざまな支援施設につなぐことや社会体験の機会を増やして、自立へむけて背中を押ししたいと思います。

#### 5 相談ルームの新設

昨年6月から、街中に相談ルームを新たに開設しました。通常ポランの広場での相談活動に加えて、新たに、肴町の「ななっく」さんのご厚意により4Fの一隅に火曜日の午後1時から4時まで、机といすを置いただけですが相談ルームをひらくことができました。昨年度6月以来の開所日数は28日で、相談数は34でした。バスセンターに近い利便性と買い物しながらさりげなく相談コーナーに行けるので敷居が低いなどの理由が考えられますが、新たに相談においでになる方が続いています。口コミやホームページをみて、二戸など遠方から来られる方もいますので、潜在的に子どもの不登校やひきこもりに悩んでいる方が県内にかなりいると実感しています。ホームページを8月末にようやく大幅に改訂し、その後定期的に更新する状況ができていますので、その効果も大きいと感じています。ホームページから情報を発信することの大切さを痛感しています。



ななっくにある相談ルームの案内ポスター

## 6 居場所について

居場所としての利用状況ですが、2013年度は「ポランの広場」を一年間で147日開きました。利用者ののべ数は798人でした。1日3～8名、平均で約5名の若者が利用しました。若者は「ポランの広場」に来て、おしゃべり、ゲーム、インターネットなどで、思い思いの時間を過ごしますが、最近の「ポランの広場」はとても賑やかで、若者が作詞作曲した歌を歌ったり、ギターを弾いたり、寄付していただいた電子オルガンを弾いたり、議論し合ったりしています。詩や短歌を詠む若者もいます。また、ポランの広場では一か月に1回“絵本でほっこり・ゆっくりしましょう”の読み聞かせの時間があり、今年で3年目になりますが、その時間には若者たちが絵本をお互いに読み合うようになってきています。障がい者施設で働いていて、時々「ポランの広場」に来て元気を取り戻していくという若者や、一般の会社で仕事がつらくなったとき、ふらりと「ポランの広場」にやってくる若者もいます。そんな中から、自分でバイト先を探してきて仕事を始める若者も出てきました。若者同士が刺激し合って成長しているのを感じます。若者は、他人との人間関係が苦手です。今すぐ働くには自信がないけれど、心の奥底では働きたいと思っているんだなと感じます。

## 7 若者の会行事

若者たちは隔月1回若者たちで行事を行っています。2013年度は、4月のお花見会、夏のスポーツ、秋の散策とバーベキュー、冬のクリスマス会などを計画しています。参加者に好評で毎回約15～20名になります。居場所には来ることができないけれど、行事を楽しみにして行事にだけ参加する若者もいます。また、昨年度で11年目になりますが、盛岡市内のピアニストの方がマネージメントして下さり「ふれ愛チャリティーコンサート」を開いていただいています。若者たちが準備をし、いただいた募金をポランの広場に寄付していただいています。この他、隔月1回金曜日の午後、“手縫いの袋作り”で手芸の時間を設けています。講師はポランの広場に來ている若者のお母さんです。作品をふれあいランドの「ふくしまつり」で販売もしました。居場所での交流や様々な行事の経験の積み重ねが若者を成長させていると感じています。

## 8 ひまわりプロジェクト参加

福島市の障がい者施設の「シャローム」が震

災後に始めた「ひまわりプロジェクト」に2013年度も参加しました。福島が放射能汚染されたため、ひまわり栽培ができなくなって、ひまわり油を絞れなくなったことから「シャローム」が「子どもの権利条約日本支部」の支援を受けて始めたプロジェクトです。ポランの広場では、ひまわりの種を送ってもらい、畑をお借りして、ひまわりを栽培し秋に収穫した種を福島に送りました。玉山区日戸の畑に約1,000本の種を蒔きました。夏には岩手山を背景にしてひまわりが咲きそろう見事な眺めでした。秋に花の部分を刈り取り、数日間乾燥させた後、種をばらし、さらに集めた種からごみなどを除くなどの一連の作業をポランの広場の若者とスタッフ全員でやり通しました。最後の種を選別し終えたときは感無量でした。送った種は、12月にひまわり油となって届きました。

このプロジェクトでは、ひまわり油の瓶にラベルを張ったりする作業がシャロームで働く障がい者の仕事になりますし、ひまわり油の販売利益は福島の子もたちが夏の間福島からはなれて過ごすための保養プログラムの経費につかわれます。こんなふうにつながり活動、自分たちも皆さんからの支援をうけていますが、一方で他人の役に立つことができるという活動が若者の自己肯定感をそだてる手助けとなると信じています。



玉山区日戸のひまわり

## 9 フードファーム事業への参加

昨年、ここで話をさせていただいた時に、“若者の社会体験の機会を増やしたい”と述べていたのですが、2013年度はそれに沿った活動を行うことができました。「2013年度フードファーム事業“困難を抱えている方々への支援のために”」に参加しました。孤立しがちな状況に置かれている東日本大震災後に沿岸から内陸に避難している方々と不登校や引きこもりなどの結果として就労しにくい状況にいる若者たちが畑仕事をおこない、収穫した野菜を盛岡に避難している方々に届ける事業です。ポランの

広場の若者も、避難して盛岡に居る方々と一緒に週1回午前10時～12時まで市内の畑に野菜やイモ類、ナス、キュウリなどをみんなで栽培して、収穫しました。居場所から戸外に出て、2時間だけですが太陽の光を浴びて作業しました。あっという間に2時間がすぎ、昼食に賄いの方が作ってくれた芋の子汁とおにぎりを食べて解散するという日課でした。冬には餅つき、ソーセージ作りも楽しみました。

ほとんど毎回参加した若者は、いつの間にか、みなさんの前で歌を披露するようになり、自分自身の可能性にめざめたようです。大人や他団体の若者とふれあうことで、視野も広がったと感じますし、この事業への参加は若者たちに積極性と社会性を与え元気にさせてくれました。

### 10 その他の活動

(1)県内の各地区父母会の情報交流センターとして、「ポランの広場通信」の毎月発行と「ポランだより」の年1回発行、(2)“岩手のつどい in 遠野”(11月10日、遠野市福祉センター)(岩

手県内：80名参加)の開催、(3)岩手県立療育センター ウイズの田代拓之氏による発達障がいについての学習会(11月17日、岩手県公会堂)などを行いました。県内の父母同士が交流した“岩手のつどい in 遠野”ではポランの広場に來ている若者が、学校に行けなかった時の気持ちを語り参加した親を感動させました。“親は子どもにどう対応すべきか”をこの青年に教えられたという感想がありました。

### 11 終わりに

「ポランの広場」にやってくる若者は、発達障がいがあるとされる子どもや若者をふくめて、どの子どもも成長しています。この子どもたち、若者たちが社会に巣立っていくためには、社会的なサポートが必要です。「ポランの広場」は、その社会的自立をサポートしていきたいと活動しています。私たちの活動を支えて下さっている盛岡ロータリークラブのみなさまのご理解とご支援に、深く感謝申し上げます。

## 例会報告

### 第40回例会 平成26年5月9日(金)

- 於 川徳 12時30分 開会点鐘
- ・司会 平井 滋会長
- ・ソング 奉仕の理想
- ・国歌 君が代
- ・会長報告 平井 滋会長
- ・ゲスト 畠山節子様(岩手県青少年自立センター ポランの広場 理事)、カムチョンプー・スリーポン様(2014学年度ロータリー米山奨学生)、シュヌリゲ・マチルダ様(本年度長期交換留学生)。
- ・ビジター 菊田徳幸さん(仙台北R.C.)
- ・皆出席バッチ 菊池 尚君(3年)、岩野法光君(15年)。
- ・入会祝 小川 惇・川村宗生・長澤 茂君。
- ・誕生祝 吉田幸一・田中堯史・高

- 柳一郎・福井誠司・佐藤仁志君。
- ・結婚祝 柴田義春・白石 茂・中山哲克・平野佳則君。
- ・幹事報告 平野佳則幹事
- ・青少年育成団体支援金贈呈式

### 【他クラブ例会変更のお知らせ】

- 盛岡北R.C.=5月21日(水)は夜例会実施のため18:30～ 時間変更。
- 盛岡東R.C.=5月19日(月)は通常夜例会18:30～ すべいん倶楽部会場変更。

### 【ニコニコBOX】

- ◆藤村吉隆君…昭和の祝日に池野和夫先輩がお店にいらした際、先週の植樹のことをお話ししたら1982年RI(アールアイ)75周年の記念植樹のお話をお伺いすることができました。モリオカシダレの挿し木がうまく育たず、4年越しで植樹されたそうです。平井会長の年表

が大変役に立ちましたので植樹の写真とともにコピーを差し上げたところ大変喜ばれました。池野先輩と平井会長に感謝し、ニコニコします。

- ◆菊池 尚君…本日3年の皆出席バッジをもらいましたが、最近ではメイクアップばかりで、久しぶりに例会に出席しました。ずっとさぼっていたのに温かく迎えて下さった会員の皆様、特にSAAの吉江さんに感謝してニコニコします。

- メイクアップ  
地区=坂本君。盛岡北R.C.=福田・金子・菊池・吉田(幸)君。盛岡西R.C.=若松君。盛岡南R.C.=熊谷(祐)・吉原君。盛岡東R.C.=川村(登)君。盛岡西北R.C.=高柳君。クラブ委員会=千葉・吉田(育)君。

出席報告  会員数 /69名  出席数 /38名  出席率 /57.58%  前々回修正出席率 /79.41%

### プログラムの お知らせ

・5月16日(金) ゲスト卓話 平藤由美子様(ジョブカフェいわて 所長)  
「若者の就労支援の現場から～ジョブカフェいわての取り組み～」

- 本号編集担当 / 川村 宗生
- 次号編集担当 / 藤田 治彦